

大学と高専

工学部 知能システム工学科
3年 荒井 優輝

去年までは大阪府立高専で5年間学び、今年度編入学しました。そのため、共通教育は前期しか受けていません。そんなわけなので高専のときの経験を踏まえて大学の講義について書いてみようと思います。ただこれから書くことは、あくまでも自分の出身高専のことなので他の高専が同じシステムかどうかはわかりません。

1つめは共通教育自体というか大学の講義についての感想みたいなものになりますが、高専のときにも共通教育と同種のものがありました。4・5年生のときに学科共通の選択授業がありました。とは言うものの一学年200人程度で、学年別の講義でした。そのため選択できる授業も数講座しかなく、どの講座も40人程度の小規模なものでした。これの他に英語、第二外国語のドイツ語などがありました。そ

れに比べ大学では非常に多種多様な講義が存在しているため自分の興味にあったものを選べる非常にありがたいシステムであると感じました。ただ受講者が多すぎるため、全体的に授業が先生から学生への一方通行になりがちな感じはしました。

また共通教育というものの自体に対しては正直なところ重要な項目であるとは思いません。そもそも高専のときの授業の大半が工学、理数系の教科ばかりのものであったのでこんな考え方になってしまったのですが、こういった科目は専門に直接影響するようなものであるとは思いません。しかし大学を卒業してしまえば、自分の専門以外の分野をこうして学ぶこともなくなってしまうので、こういった様々な分野を学ぶ機会のあるのもまたよいことかもしれません。